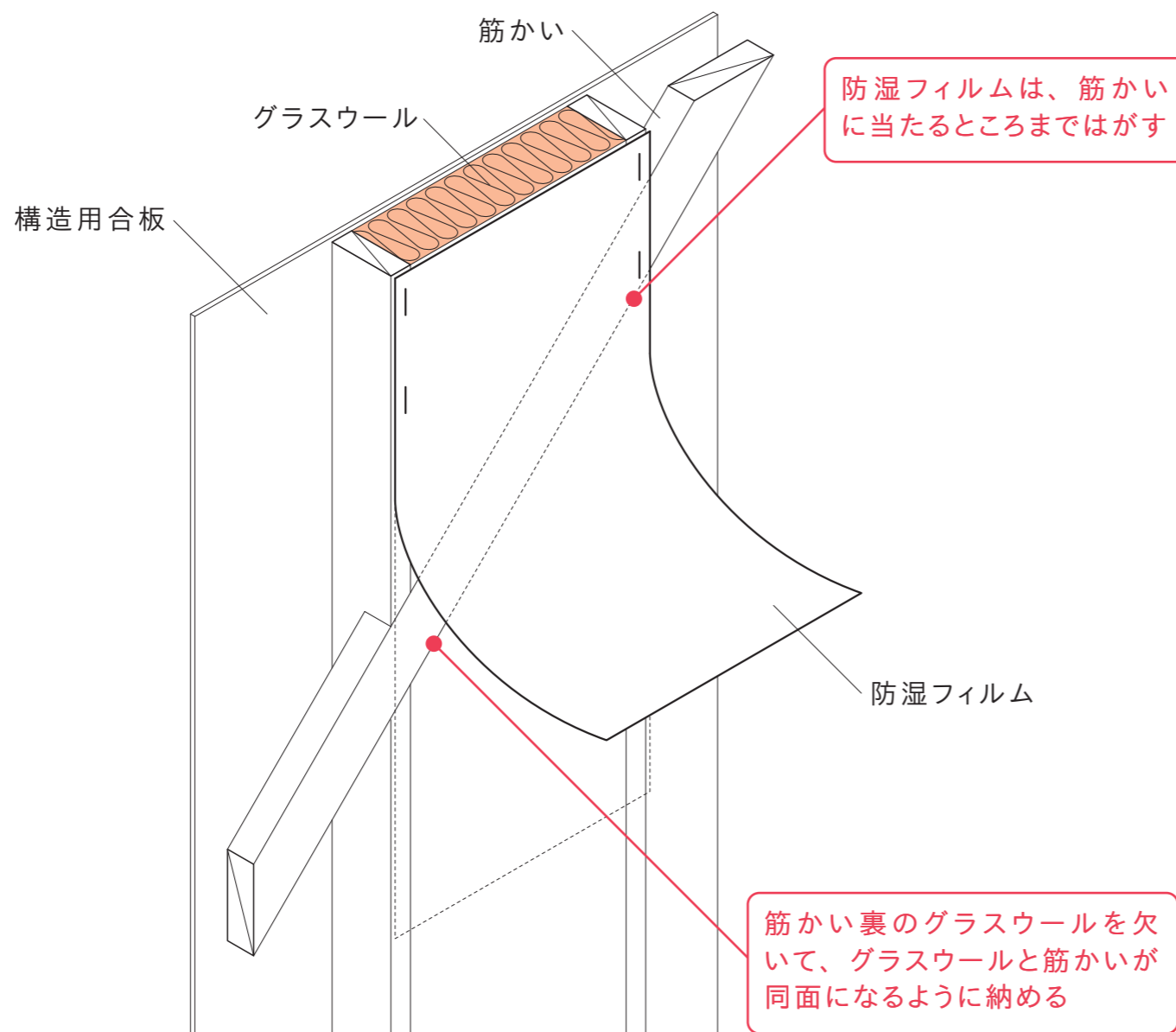


! 補足説明4 - 筋かいで耐力壁をつくる場合



- ・グラスウールに付属している防湿フィルムを筋かいに当たるところまではがし、グラスウールを筋かいの裏側に通すように充填する。
- ・筋かいに重なるところのグラスウールを欠いて、グラスウールの表面と筋かいが同面になるようにする。
- ・はがした防湿フィルムを被せ直し、間柱の見付け面にタッカーで留め付ける。
- ・防湿フィルムの耳は、上下に30mm以上出して床合板、胴差し、桁に留め付けること。→3歩先「外壁」の施工手順⑥参照

出典：国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修『温暖地版 自立循環型住宅へのガイドライン』一般社団法人建築環境・省エネルギー機構、2015年

断熱・気密ナビ(dankinavi.jp)に掲載のテキスト・図版などの著作権は、その著者・制作者およびYKK APに帰属します。無断での転用・転載は禁止させていただきます。同サイトで掲載している納まりは参考図です。この納まりに基づいた施工によって生じた不具合または損害などについては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。同サイトにおいて提供する情報は、2017年10月現在の情報に基づいた参考情報であり、具体的な法的または技術的アドバイスを提供するものではありません。

【参考文献】国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修『温暖地版 自立循環型住宅へのガイドライン』一般社団法人建築環境・省エネルギー機構、2015年
省エネ講習会資料作成WG監修『住宅省エネルギー技術施工技術者講習テキスト(施工版)平成28年省エネルギー基準対応』木を活かす建築推進協議会、2016年
『断熱工法について 天井の断熱施工(桁上断熱)』ガラス繊維協会ウェブサイト